



ぎんなん

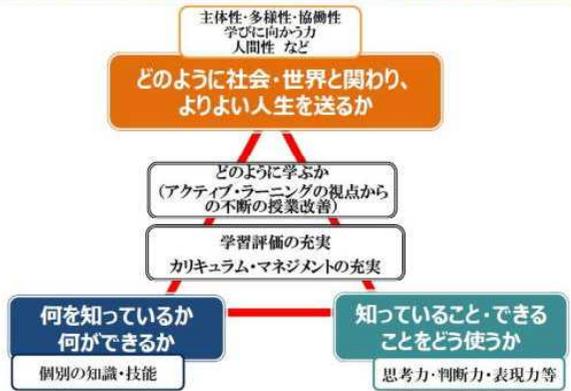
中原小だより（中原小校長室）
第39号
R2.1.31

小学校新学習指導要領全面実施

いよいよ来年度（令和2年度）から新しい「学習指導要領」が全面実施になります。この「学習指導要領」とは、簡単に言うと小学校や中学校で、どんな内容をどの学年で、どのくらい学習するかなどを示したものであり、教科書や各学校での時間割は、これを基に作られます。今回の改訂で、小学校において大きく変更される点は、
1. 外国語（英語）の教科化、 2. 道徳の教科化、
3. プログラミング教育の導入などです。

熊本県では、数年前から準備してすでに取り組んでいる内容もありますが、いよいよ4月から全面実施となります。

育成すべき資質・能力の三つの柱を踏まえた日本版カリキュラム・デザインのための概念



来年度の創り手になっていくことが期待されています。南小国町教育委員会でも、そういった社会の変化に対応し、生き抜くために必要な資質・能力を備えた子どもたちを育てるため、「きよらの郷づくりは、人づくりから」という教育プランのもと様々な取組が行われています。

先日初めて行われた、南小国町小・中学生プレゼンテーション大会もその中の1つです。

なぜ改訂されるかと言うと、これからの社会は、情報化・グローバル化の加速度的進展やAIの発達により、社会は大きく、そして激しく変化しています。このような予測困難な時代にあっても、子どもたちには、よりよい豊かな未来

南小国町小・中学生プレゼンテーション大会

1月18日（土曜日）南小国町小・中学生プレゼンテーション大会が、きよらホールで行われました。各学校の低・中・高学年から1名ずつ代表が発表しました。



小学校低学年の部が「学校をより良くするために」中学年の部が「暮らしやすい町にするために」そして高学年の部が「産業・経済に関わる私のアイデア」というテーマに沿って、iPadを巧みに操作し、プレゼンを行いました。

中原小でも、各クラス代表を決める発表会をのぞきましたが、代表になった以外の子どもも、いろいろなアイデアを発表していました。

ただのプレゼンだけになるのではなく、自分なら何ができるか、発表したことをしっかり考え、未来の南小国町の創り手となるよう、学校の勉強もがんばって欲しいと思います。

手洗い・マスク着用を

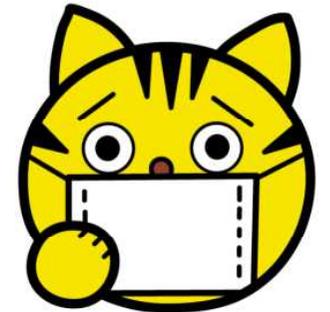


最近、インフルエンザのことよりも、新型コロナウイルス感染のことが話題になっているようです。

いずれの病気も感染予防するために、手洗い・マスクの準備をお願いします。

しばらくの間は、できる限り

混雑の場所は避け、どうしても出かけるときはマスクをしましょう。そして外から帰ったらしっかり手洗いをし、病気に感染しないように注意しましょう。子どもだけでなく、大人の方も予防に努めてください。



※学校便りは、中原小のHPでもご覧いただけます